



幸手市議会議員
本田ようこ

〒340-0164
幸手市香日向3-10-16
TEL: 080-5137-4539

幸せの手

発行：本田ようこ後援会

令和6年12月議会 本田ようこ一般質問報告の一部です。

敬老会午後の部で紅白饅頭が配布出来なかったのは…



Q：今回の対応と原因について

A：対象者入場券同封の案内状を前もって配布

- 送迎バス用意のため返信をいただく出席連絡票を同封
 - おおよその出席希望者を把握
 - 今年度は約3割増を用意
 - 把握していない記念品のみを受取希望者が、見込みを大幅に上回っていました
- (代理の方や本人が受取に来たことは何ら問題はない)
数量の見込みに甘さがありました。

Q：紅白饅頭引き換え券の現状

A：当日発行は1099名、引換えた方は909名

本田は思う → 『記念品の紅白饅頭が該当する皆様へお渡し出来なかったことは残念です。』

敬老会が廃止された市も近隣で増え、代わりに決められた歳にお祝い品等を贈るといった方式も増えてきています。

今後数年、高齢者の増加が見込まれ、改めて「敬老会」について協議や検討する時期が来たと考えます。

あえて幸手市の「お詫び」を表示致しました。

令和6年度幸手市敬老会の記念品について（お詫び）

9月16日（月・祝）に幸手市民文化体育館（アスカル幸手）にて開催いたしました幸手市敬老会につきましては、多くの皆様にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。

当日は、ご来場された方への記念品としてご用意していた紅白饅頭が、数量に余裕を持たせてはいたものの、事前に把握した出席申込者数を大幅に上回る方がご来場くださいましたことで、早々に不足する事態となりました。

このため、午後の部にご出席くださいました皆様へは当日の記念品をお渡しすることができず、記念品相当額の「敬老会記念品引換券」をお配りさせていただいた次第でございます。

敬老会当日に記念品をお受け取りいただけなかった方々に対しまして、心よりお詫び申し上げます。

幸手市長 木村純夫

未だにこどもは防災頭巾で、大切な命を守れますか



大人の防災訓練にはヘルメットといいながら、未だにこどもの防災訓練には防災頭巾です。これは1970年代から提唱され始めた東海地震の備えとして、太平洋戦争末期に用いられた防空頭巾を原型として広まり、今に至ります。

Q：50年も経ちながら未だに防災頭巾、それも座布団兼用の毎日使っているぺしゃんこの頭巾で、こどもの命は守れるのか

A：落下物から頭を守るため設計されており、厚手のクッション性により軽度から中程度の衝撃を和らげる効果があり、こどもにとって手軽に着用できる利点がある。

一部の防災頭巾には防災性もあり、やけどのリスクも軽減…。しっかりした防災頭巾の購入を呼びかける。

市長：防災頭巾からヘルメットへと移行している自治体もあるが、今後の研究とする。

本田は思う → 市として学校管理のもとで、ヘルメットを小中学校に設置してはと提案しました。

★防災頭巾の選び方



- ・衝撃への強さに注目しよう
- ・燃えにくい「防災協会認定品」を選ぶ
- ・音が聞こえるように耳に穴が開いているものを選ぶ
- ・こどもの場合はサイズに合った防災頭巾を選ぶ

※ 命を守るものは何でもよい訳ではありません。

阪神・淡路大震災から30年

過去の教訓を今後にかす対策（備蓄）

冬の避難時の服装と非常用持ち出し袋

NHK

冬の避難所は防寒対策が必要になります



1995-1.17 阪神・淡路大震災
2011-3.11 東日本大震災
2024-1.1 能登半島地震

災害は暖かい時期とは限りません。
冬の災害対策を!!

ワンポイント

備蓄は車にも積んでおくと便利

- ・車で直ぐに避難ができる
- ・家が倒壊しても備蓄は残る

ワンポイント

万が一の家屋倒壊から救出するための道具も視野に入れて下さい

災害用の備蓄品・防災グッズ

NHK

自力で生活を継続できる備えを事前におきましょう



出典：NHK 生活・防災



・ロープは綿ロープの方が滑りにくく縛りやすい
・ボールは大きい方が力が入り使いやすい

本庁舎前に浸水深表示実現!

阪神・淡路大震災のテレビ中継をしがみついで見ていたことを思い出します。もう30年が過ぎました。「震度7」なんて想像もつかない恐怖でしかありませんでした。日本の歴史から大きな地震が起こることは理解していても、ほど遠い現実でした。

私が市議会議員となり数年後、幸手市では市民への防災士養成の補助金が決まりました。そこで防災士の理解のため、先ずは私自ら勉強し、幸手市議会議員で初めての防災士となりました。（もちろん自費です）そして毎回、「防災」に関する一般質問を続けています。防災関係はなかなか前に進みませんが、諦めることなく、市民の皆様への安全安心のため、今後も全力で精進してまいります。本年もご理解、ご協力、更にご支援の程よろしくお願い致します。

令和7年1月

本田ようこ



この場所は利根川が氾濫すると3.1m浸水する可能性があります
一般質問より
動きを止めない活動に成果です。
ありがとうございます。